

山佐交流センターだより

2020年（令和2年） 3月発行号

発行日 令和2年 3月19日

発行 山佐交流センター TEL(FAX) 35-0129

2月末の上山佐人口＝ 356人（対前月比： △4人）

上山佐を
みんなで
元気にして
いこう！



上山佐のイメージキャラクター「てんぼごん」

楽しく懐かしい話で盛り上がった住民学習会

2月23日、毎年恒例の上山佐地区住民学習会を開催しました。講師は松江市本庄公民館長の山内恭さん。山内さんは昭和46年に島根大学教育学部を卒業後、新任で山佐中学校に赴任された先生です。講演では「下宿から朝夕のご飯を食べに行った今岡旅館で毎日のように飲んでいた。」「雪の量を計ろうとして1m物差しを立てたけれど、それが見えなくなるほど積もったことがあった。」「川に落ちて流されて死にそうになったが、次の日そのことを生徒が知っていた。」「卓球部の顧問をしたけれど、生徒の方が強かった。」「地域の人々が暖かく、とても良くしてもらった。」などの思い出話。1月末に事前に下見に来てもらっていたので、「ダムができてその周辺にキャンプ場やグラウンドゴルフ場が整備されていることや、当時奥田原の生徒が通学途中に水を飲んでいて場所を観音様地蔵様（嫁来い観音婿来い地蔵）が建立されていてビックリした。」「学校周辺の昔よく通った道を歩いてみて懐かしく感じた。」など、久しぶりに見た上山佐の印象。そして現在公民館長として取り組んでいる仕事の内容（「本庄地区は『弁慶のふるさと』であり、そうした地域資源を活かした町づくりをしている。」など）。さらにお笑いコンビ『かまいたち』山内健司さんのお父さんでもあるため、息子さんの小さい頃からお笑い芸人として成功されるまでのエピソードなどをお話いただきました。



最後に歳をとって若い時と同じようにならない様子を川柳で10句ほど紹介、「こないだと50年前の話しする」「診察券 残るは婦人科 だけとなり」「妻の声 昔ときめき 今動悸」「恋かなと 思っていたら 不整脈」など、息子さんに負けないお笑いで講演を締めくくられました。また講演の途中、「日本の人口数は10年前がピーク。今後はどう頑張っても増えることはない。減ること前提での町づくりが必要。田舎は人と人の付き合い・緑や自然・人が集まる祭などが残っている。久しぶりに上山佐を訪れて、良い所だと改めて思った。」という言葉もありました。講演のサブタイトルのとおり「ゆかいに楽しくまちづくり」を再確認する講演会になったと感じました。講演会終了後は、当時の教え子を中心に山内館長との懇談会も開かれ、思ひ出の花が咲いた楽しい一日となりました。

徒が通学途中に水を飲んでいて場所に観音様地蔵様（嫁来い観音婿来い地蔵）が建立されていてビックリした。」「学校周辺の昔よく通った道を歩いてみて懐かしく感じた。」など、久しぶりに見た上山佐の印象。そして現在公民館長として取り組んでいる仕事の内容（「本庄地区は『弁慶のふるさと』であり、そうした地域資源を活かした町づくりをしている。」など）。さらにお笑いコンビ『かまいたち』山内健司さんのお父さんでもあるため、息子さんの小さい頃からお笑い芸人として成功されるまでのエピソードなどをお話いただきました。

最後に歳をとって若い時と同じようにならない様子を川柳で10句ほど紹介、「こないだと50年前の話しする」「診察券 残るは婦人科 だけとなり」「妻の声 昔ときめき 今動悸」「恋かなと 思っていたら 不整脈」など、息子さんに負けないお笑いで講演を締めくくられました。また講演の途中、「日本の人口数は10年前がピーク。今後はどう頑張っても増えることはない。減ること前提での町づくりが必要。田舎は人と人の付き合い・緑や自然・人が集まる祭などが残っている。久しぶりに上山佐を訪れて、良い所だと改めて思った。」という言葉もありました。講演のサブタイトルのとおり「ゆかいに楽しくまちづくり」を再確認する講演会になったと感じました。講演会終了後は、当時の教え子を中心に山内館長との懇談会も開かれ、思ひ出の花が咲いた楽しい一日となりました。



新しい交流センター館長決まる

これまで5年間、館長として上山佐地区をけん引してこられた岩田治作さんですが、3月末の任期満了をもって退任されることになりました。館長就任前の主事の期間を含めると10年近くにわたってこの地域の発展にご尽力してこられました。その功績に対し厚くお礼申し上げます。4月からの新しい館長には、本山禎彦さんが就任されます。合併前の広瀬町議会議員、そして合併後の安来市議会議員として、更に近年では山佐教育後援会長として活躍してこられました。少子高齢化や人口減少問題など課題山積の中、地域を引っ張っていただけると期待しています。

退任ごあいさつ

春分の節、上山佐地区の皆様にはますますご清祥のことと推察お喜び申し上げます。

この度3月31日付けをもって山佐交流センター館長を退任することとなりました。約10年間、主事また館長として交流センター事業に携わらせていただくことができました。その都度皆様方には多大なご支援をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。ここに紙面をお借りし、お礼のごあいさつとさせていただきます。誠にありがとうございました。 岩田治作



交流センター主事の勤務体制が変わります

交流センターは主事2人体制であるため、どうしても1人で勤務する時間があります。その際に急病になったり急用が発生した場合、閉館することになりますが、幸いにもこれまで平日に閉館したことはありませんでした。山佐交流センターは印鑑証明や住民票発行などができる「出張所」の機能もあるため、主事の勤務日数はこれまで月19日とされていましたが、4月から「会計年度任用職員」という身分に変更されることに伴い、月17日の勤務日数になります。そのため1人で勤務する時間が多くなり、その際の不測の事態発生に伴う閉館の可能性が高くなります。更に月17日勤務に調整しようとするれば、やむを得ず同じ日に休むこと（閉館すること）も想定されます。事前に閉館することが分かれば告知放送でお知らせしますが、緊急やむを得ない場合は玄関への表示で周知いたします。決して「今後積極的に閉館します」ということではなく、「今後は平日の閉館の可能性が高くなる」という意味で受け止めていただければ幸いです。



新型コロナウイルス感染予防対策等について

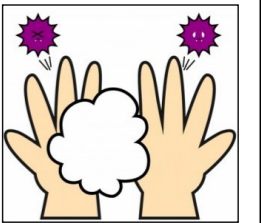
市からイベントなどの中止・延期・規模縮小など、いわゆる自粛要請が出されています。

交流センター主催のイベントなどは中止していますし、交流センターを会場に行われるサークル活動等も、中止の判断をされているものが多くあります。

打合せ等で交流センターへおいでいただく皆様には、入口付近に消毒液を準備していますのでご利用ください。加えて手洗いやマスク着用などに努めていただきますよう、お願いいたします。

今後の見通しが立たない中、各種催しを引き続き中止する可能性が高いことから、毎月の交流センターだよりで掲載している「今月の予定」は、今回掲載を見合わせました。

このような状況はしばらく続くと思われま。各家庭で・各職場で、感染予防対策に努めていきましょう！



【編集後記】

コロナウイルス関連で寂しい話題や残念な話題が多い中ですが、嬉しいニュースの一つ提供します。交流センターで『電子ピアノ』を購入しました。

講堂に置いてありますのでご自由にお使いください。ピアノが弾ける人は少ないと思いますが、コーラスサークルなどが設立されることを期待しています。またバンド活動の練習などにもお使いください。

